



出雲小だより 10月号

令和5年9月29日
大田区立出雲小学校
校長 関 真理子



①いつでも、どこでも、チャレンジする子
②ずっと、なかよし、やさしい子
③もりもり、わくわく、きたえる子

学校ホームページ: <https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所: 〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話: 03(3742)3542 FAX: 03(3742)3543



溶けていく 星空ディスタンス 群れ合う秋桜

校長 関 真理子

酷暑が続き、心地よい気候になる日もありますが、子どもたちは、外遊びができる時を、心待ちにしながら、汗をかき、友達との遊びを楽しんでいます。

9月13日から14日までの間、6学年は、とうぶ移動教室を通して、大きな成長を得た2日間を過ごすことができました。

東京とは違う「自然」を豊かに感じ、集団行動での時間厳守のための「5分前行動」、協働した学び合いのための、「自立と自律」、関わってくださった皆様への「感謝」を子どもたちは、言葉と行動で示していました。とても、ステキな姿でした。



右の写真は、キャンプファイヤー後の、アイスクリームを食べている6学年の様子です。凍っていたアイスが溶けていく時間、友との語り合いが溶け合う空間、そして、満天の星空のもと、キャンプファイヤーで、出雲の皆との距離がより近くなった瞬間でした。とうぶの宿舎では、秋桜が揺れながら群れ合う様が、この6学年の素直さを表現していました。

この移動教室での学びが、運動会や卒業式へと深くつながり、広がっていくと確信した姿でした。御期待ください。

大田区議会子ども文教委員会委員の方々の視察

9月27日(水)4校時、本校が推進している独自教科新設「おおたの未来づくり」の学習を視察されました。

本校では、令和2年度より、未来を創る力の育成を柱に、授業パートナー(町会や企業、団体、地域の皆様)とともに、授業づくりを通して、課題設定、その課題に向けて解決しようとする創造性、TRY&ERROR(試行錯誤)する過程を大事にしながら、子どもたちの成長を育む学習を進めています。今後、どんな未曾有な事態が起きても、工夫や改善を繰り返して、諦めなくて TRY&ERROR をたくさんの方々と関わることで、新たな発見や創造につながっていく学習です。

1から4学年は、5・6学年の「おおたの未来づくり科」の素地として、大切な基礎・基本の学習を定着させていきます。その中には、論理的、科学的な思考、プログラミング教育、ものづくりに必要な技術力、外国語活動・外国語科での使える英語力、端的で分かりやすいプレゼン力など、身に付けさせていくことが求められます。先生方は、本校の子どもたちの実態を見取り、さらに、子どもたち同士の学び合いを進化させていくため、何度も話し合いをしながら、よりよい「未来づくり」を深めていきます。

10月行事予定

日にち	曜日	内 容
1	日	
2	月	全校朝会 読書月間始 早寝早起き朝ごはん週間始
3	火	委員会 SC
4	水	全校集会「変身、首都高大師橋」 研究授業(5h2-1) 他学級午前授業
5	木	体育朝会
6	金	生活科見学(1) お話会(2・4) 早寝早起き朝ごはん週間終 SC
7	土	光輪幼稚園運動会
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	全校朝会 安全指導日 伊豆指導教室事前健診(5) SC
11	水	伊豆移動教室(5)
12	木	伊豆移動教室(5)
13	金	縦割班活動 SC
14	土	土曜お話会 校庭開放(PTA)
15	日	
16	月	全校朝会
17	火	クラブ⑨ 生活科見学(2) SC
18	水	児童集会 起業家教育(4)
19	木	蒲田消防署見学(3・5組)
20	金	お話会(1・3・5) 生活科見学予備日(2)
21	土	学校公開・道徳授業地区公開講座 講師:指導課統括指導主事 中治謙一氏 秋のわくわくスクール(PM)
22	日	
23	月	全校朝会 5組医療専門相談
24	火	クラブ
25	水	委員会紹介集会 クラブ SC
26	木	
27	金	SC
28	土	
29	日	
30	月	全校朝会
31	火	委員会 読書月間終

※今月は予告なしの避難訓練があります。

心を育てる「あ・い・う・え・お」

あ:あっ!そうか!

い:いいこと言うね。

う:う〜ん、なるほどね。

え:え?どういうこと?

10月 生活目標

来校者の方々にもあいさつをしよう。すすんで学習の準備をしよう。

人とすれ違う時等は、自分から挨拶をしましょう。チャイムの前に、学習の準備をしましょう。



とうぶ移動教室

6学年 中谷 悠佑・三浦 晴代

1学期から準備してきた「とうぶ移動教室」も、2日間の行程を経て無事に終わりました。初めはイメージをもていなかった子どもたちも、しおりの作成や当日に向けた準備を係ごとに進めていく中で、楽しみな気持ちをより一層膨らませていくことができました。

2日間という短い時間でしたが、子どもたちといつも以上に一緒に過ごせたことで、大きな成長を実感できた2日間でした。とうぶ移動教室での学びをこれからに生かし、さらなる成長につなげられるよう見守っていきます。



社会科見学

4学年 近藤 豊裕・東海林 彩佳・仙波 知樹・小松原 陸
9月21日(木)に社会科見学がありました。

「浅草」では、浅草ボランティアガイドの案内のもと、雷門、仲見世、浅草寺、浅草神社について学ぶことができました。外国からの観光客の方と英語で挨拶する児童もいました。

「大田清掃工場」では、1学期に学習した工場の工夫を実際に見学することができました。ごみバンカにある巨大クレーンが動く場面では、大きな歓声が上がっていました。



算数科習熟度別少人数指導

算数少人数 久米 教介

算数少人数指導は、基礎的・基本的内容を確実にし、個に応じた指導をします。今年度は、1年生から6年生まで授業の最初の5分間で、今まで習った計算練習を行っています。10問程度の問題を短い時間で解きます。「100点だった。」「昨日より速くなった。」等の声が聞こえてきています。少ない人数での授業で、多くの発言や説明ができることと共に、毎日での積み重ねで自信と意欲につなげてほしいと思います。

算数が、教科で一番好きだとのアンケート結果もあります。好きな児童が増えて、算数を通して、自律性、協働性を高め、自ら考え解決する力を育てるようにしたいと考えています。



立体作品の制作

図工科 蒲 真理亜

2学期が始まり、3学年は、キラキラの世界にあるお城を切り絵で作り始めました。4学年は、動物を設計図に表し、木材をのこぎりで切って、紙やすりでやすりました。5学年は、オリ・パラ競技に参加している自分の姿をスケッチし、針金で骨組みを組み立てました。6学年は、板にキリで穴を開けて、電動系のこぎりを使って板をくり抜きました。

どの学年の児童も道具を正しく使い、安全に気を付けて制作を進めています。出来上がりが楽しみです。



<今年の暑さを象徴 親子でチャレンジ五・七・五>

副校長 小林 正明

夏季休業中に、保護者の皆様にお願ひしました「夏休みだ!親子でチャレンジ五・七・五」の作品を各教室付近の廊下に掲示しています。一昨年度から始めたこの取組もかなり浸透し、子どもたちの題材を選ぶ視点や言葉の選び方にも幅が出てきました。また、今年は例年のない暑さだったためか、それに関連した作品も多く見られました。わずか17音の中に、多様な喜怒哀楽がしたためられていました。御協力いただき、ありがとうございます。

さて、子どもたちの言葉の力を育てるには、家庭での会話がカギとなります。子どもたちは、一番身近な人から言葉を学びます。言葉の使い方、表現の仕方などにその人となりが出ていきます。同じ言葉でも、伝え方次第で受け取る印象は変わっていきます。また、言葉は短期で身に付くものではありません。幼い子どもの頃からの様々な体験や経験から、それらを意識的に言語化することを通してその人の根幹として、言語は身に付きまします。そして、子どもとの会話は「今」が大事です。話す内容、使う言葉で親としての生き方を伝えていきましょう。

ところで、本校では、今年から「おたの俳句大会」に参加します。これは全校児童のみならず、保護者も任意で出品できます。これまでの親子での取組を生かし、保護者の皆様もチャレンジしてみませんか?詳しくは後日、お知らせします。2学期も学習の基盤である言語、言葉を大事にして教育活動をすすめてまいります。御理解と御協力をお願いいたします。ここで一句「秋の空 校庭に響く 影送り」学校に子どもたちの声が戻ってきました。